



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 滝沢 昌彦 (TEL) 025-270-7111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	19,940	1.4	1,021	△14.9	1,134	△18.0	602	△29.9
29年6月期第2四半期	19,664	△1.1	1,200	50.3	1,384	93.8	859	236.7

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 595百万円(△18.5%) 29年6月期第2四半期 731百万円(127.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年6月期第2四半期	32	56	—	—
29年6月期第2四半期	46	49	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	27,925	—	10,772	—	38.6	—
29年6月期	23,520	—	10,279	—	43.7	—

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 10,772百万円 29年6月期 10,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
29年6月期	円	銭	円	銭	円	銭
30年6月期	—	—	—	6.00	6.00	—
30年6月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日~平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	36,000	3.5	1,100	△17.4	1,100	△27.9	500	△40.9	27	05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期2Q	18,590,000株	29年6月期	18,590,000株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	95,008株	29年6月期	102,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期2Q	18,489,992株	29年6月期2Q	18,487,255株

（注）期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式（30年6月期2Q30,000株、29年6月期37,000株）が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（30年6月期2Q35,000株、29年6月期2Q37,857株）。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年7月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善の効果により全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、節約志向や低価格志向は根強く、消費者ニーズの多様化への対応が求められるなど依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高199億40百万円（前年同四半期比2億75百万円（1.4%）の増加）、営業利益は10億21百万円（前年同四半期比1億79百万円（14.9%）の減少）、経常利益は11億34百万円（前年同四半期比2億49百万円（18.0%）の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億2百万円（前年同四半期比2億57百万円（29.9%）の減少）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、当社の主軸商品群である「減塩商品」を中心に長年ご愛顧いただいている基幹商品のリニューアルや品質改善を実施してまいりました。

また、「うな次郎の日」として7月26日を記念日登録した「うなる美味しさうな次郎」や白身魚独特のほぐれ感を実現した「サラダフィッシュ」などが堅調に推移したことに加え、11月中旬からの気温の低下によりおでん商材が好調に推移したため、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

利益面においては、労働力不足による人件費の増加に加え、エネルギーコストが増加したことなどにより前年同四半期と下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は174億37百万円（前年同四半期比2億7百万円（1.2%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は6億97百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）8億99百万円）となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、7月は野菜が豊富に出回り、野菜市場価格は低迷いたしました。秋以降は天候不順等による影響で野菜市場価格は高騰し、きのこと価格は堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、安定生産、品質向上に努め継続的に販売促進を行った結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は22億43百万円（前年同四半期比59百万円（2.7%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は2億19百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）1億93百万円）となりました。

③ その他

(運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、燃料費等の経費増加があったものの、既存のお客様との取引拡大により、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、前年同四半期を上回る新規入庫を獲得したものの、保管在庫量が低調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は2億59百万円（前年同四半期比8百万円（3.5%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は99百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）1億5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は110億72百万円（前連結会計年度末比45億55百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金ならびに原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は168億53百万円（前連結会計年度末比1億49百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は128億79百万円（前連結会計年度末比50億20百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は42億73百万円（前連結会計年度末比11億7百万円の減少）となりました。これは主に社債ならびに長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払等により107億72百万円（前連結会計年度末比4億92百万円の増加）となり、自己資本比率は、主に季節的要因による流動資産の増加により総資産が増加したため、前連結会計年度末の43.7%から38.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月4日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,033,505	979,976
売掛金	2,639,843	6,756,862
商品及び製品	791,927	553,503
仕掛品	603,412	372,856
原材料及び貯蔵品	1,286,029	2,078,211
その他	162,865	332,857
貸倒引当金	△562	△2,015
流動資産合計	6,517,021	11,072,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,439,983	6,356,456
機械装置及び運搬具(純額)	2,934,935	2,979,445
工具、器具及び備品(純額)	166,504	160,111
土地	3,267,127	3,267,083
リース資産(純額)	199,985	181,749
建設仮勘定	25,866	113
有形固定資産合計	13,034,403	12,944,959
無形固定資産	330,023	337,917
投資その他の資産		
投資有価証券	2,915,880	2,882,489
その他	747,243	712,446
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,638,624	3,570,436
固定資産合計	17,003,050	16,853,313
資産合計	23,520,072	27,925,565
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,877,411	3,173,896
短期借入金	2,879,925	5,974,943
未払法人税等	518,028	471,601
賞与引当金	60,744	64,442
未払金及び未払費用	1,529,559	2,115,856
その他	993,806	1,079,128
流動負債合計	7,859,476	12,879,868
固定負債		
社債	1,175,000	882,500
長期借入金	3,171,303	2,407,017
役員退職慰労引当金	57,034	26,036
役員株式給付引当金	34,624	36,446
繰延税金負債	560,204	557,741
その他	382,838	363,884
固定負債合計	5,381,004	4,273,625
負債合計	13,240,480	17,153,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	7,291,907	7,782,802
自己株式	△56,781	△49,046
株主資本合計	8,825,126	9,323,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,344,224	1,335,334
為替換算調整勘定	110,241	112,980
その他の包括利益累計額合計	1,454,465	1,448,315
純資産合計	10,279,591	10,772,071
負債純資産合計	23,520,072	27,925,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,664,418	19,940,182
売上原価	14,456,354	14,721,294
売上総利益	5,208,063	5,218,888
販売費及び一般管理費	4,007,202	4,197,220
営業利益	1,200,860	1,021,668
営業外収益		
受取利息	158	1,284
受取配当金	14,423	13,255
受取賃貸料	8,964	9,360
受取手数料	17,558	16,218
売電収入	11,457	10,630
為替差益	166,480	101,723
雑収入	29,309	18,393
営業外収益合計	248,353	170,866
営業外費用		
支払利息	40,073	29,956
持分法による投資損失	19,277	22,202
雑損失	5,453	5,779
営業外費用合計	64,805	57,938
経常利益	1,384,408	1,134,595
特別利益		
固定資産売却益	1,443	1,849
特別利益合計	1,443	1,849
特別損失		
固定資産除却損	1,162	462
固定資産売却損	487	—
火災損失	—	105,200
特別損失合計	1,649	105,663
税金等調整前四半期純利益	1,384,202	1,030,781
法人税、住民税及び事業税	570,934	444,679
法人税等調整額	△46,114	△15,942
法人税等合計	524,820	428,737
四半期純利益	859,381	602,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	859,381	602,044

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	859,381	602,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,849	△8,889
為替換算調整勘定	△217,871	2,881
持分法適用会社に対する持分相当額	10,748	△141
その他の包括利益合計	△128,273	△6,150
四半期包括利益	731,108	595,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	731,108	595,894
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,384,202	1,030,781
減価償却費	686,972	660,535
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,432	1,453
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,339	3,697
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,240	△30,998
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	15,795	1,821
受取利息及び受取配当金	△14,582	△14,539
支払利息	40,073	29,956
為替差損益(△は益)	△167,208	△101,721
持分法による投資損益(△は益)	19,277	22,202
固定資産売却損益(△は益)	△955	△1,849
固定資産除却損	1,162	462
火災損失	—	105,200
売上債権の増減額(△は増加)	△4,164,298	△4,212,352
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90,520	△347,001
仕入債務の増減額(△は減少)	1,294,809	1,347,488
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	671,001	608,420
その他	5,073	△33,547
小計	△312,185	△929,989
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△358,110	△477,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	△670,296	△1,407,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△357,285	162,797
有形固定資産の取得による支出	△534,398	△565,904
有形固定資産の売却による収入	7,205	3,350
無形固定資産の取得による支出	△576	△490
投資有価証券の取得による支出	△2,888	△2,930
利息及び配当金の受取額	14,584	14,541
その他	△6,010	21,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△879,369	△366,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,710,000	3,120,000
長期借入金の返済による支出	△680,596	△789,268
社債の償還による支出	△342,500	△292,500
利息の支払額	△40,603	△30,373
配当金の支払額	△111,150	△111,149
その他	△37,578	△22,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,497,570	1,873,853
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,487	10,014
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,607	109,268
現金及び現金同等物の期首残高	828,339	837,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	809,731	946,767

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,230,107	2,183,327	19,413,434	250,983	19,664,418	—	19,664,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,356,219	1,356,219	△1,356,219	—
計	17,230,107	2,183,327	19,413,434	1,607,202	21,020,637	△1,356,219	19,664,418
セグメント利益	899,560	193,043	1,092,604	105,052	1,197,656	3,203	1,200,860

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額3,203千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,437,263	2,243,123	19,680,387	259,795	19,940,182	—	19,940,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,412,597	1,412,597	△1,412,597	—
計	17,437,263	2,243,123	19,680,387	1,672,393	21,352,780	△1,412,597	19,940,182
セグメント利益	697,364	219,660	917,025	99,722	1,016,748	4,920	1,021,668

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額4,920千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。